

平成 30 年 3 月
一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会 議事録
日時：平成 29 年 3 月 3 日（土）15：00～18：00
場所：ハービス PLAZA 6 階（4, 5, 6）会議室
大阪市北区梅田 2-5-25 TEL06-6343-7350

出席者：会長：前中孝文

副会長：増田 博 長谷川利雄 藤本啓治 小林正之 白木隆士

理事：上野憲司 大島正義 大成浩征 荻野 晃 貴島浩二 岸本成人

木下裕介 古瀬洋一 神藤佳孝 田上実男 調子和則 中川浩彰

中野晋吾 永田行男 西川正治 西澤 徹 堀口泰輔 宮内 晃

宮崎 浩 宮島茂夫 宮田重樹 森下 忍 森本清一 矢倉久義

山口康二 山口眞一 山本 哲 梁 裕昭 吉村弘治 和田孝彦

監事：黒田晃司 松矢浩司 特別出席者：早石雅宥 前野岳敏

（敬称略 合計 40 名）

欠席者：理事：石井正治 右近良治 太田信彦 日下昌浩 栗本一孝

茂松茂人 清水広太

特別出席者 天野敬一 長田 明 坂本徳成 堀木 篤 三橋二良（敬称略）

定刻になり前中会長の宣言により議事に入った。

[協議事項]

1、平成 29 年度 OCOA 会計報告

白木副会長

白木担当副会長から平成 29 年度の本会会計報告がなされ、全会一致で承認された。

2、平成 29 年度 OCOA 会計監査

白木副会長

平成 29 年度の本会会計報告に対して、黒田晃司、松矢浩司両監査役が平成 30 年 2 月 17 日厳正に監査し、適正に会計処理が行われているを確認したとの報告があった。全会一致で承認された。

3、平成 30 年度予算案

白木副会長

白木担当副会長から平成 30 年度の本会予算案の提示がなされ、原案通りに全会一致で承認された。参考意見として、本会ホームページをスマホ対応に改変してはどうか、OCO A 療法士会への助成金額の上限を決めるべきではないか、などの意見が出され、担当委員会で対

応を協議することとなった。

4、 療法士会収支決算報告書

白木副会長

白木担当副会長から平成 29 年度の療法士会収支決算報告がなされ、全会一致で承認された。

5、 療法士会平成 30 年度予算案

白木副会長

白木担当副会長から平成 30 年度の療法士会予算案・事業計画案が提示され、原案通りに全会一致で承認された。

6、 学術教育事業と希望助成金額の推移

白木副会長

白木担当副会長から学術教育事業と希望助成金額の推移が提示され、原案通りに全会一致で承認された。

7、 レジメ最終確認

木下理事

木下担当理事からレジメ最終確認が提示され、いくつかの修正を受けて全会一致で承認された。

8、 平成 30 年度セラピスト研修会講師選定について

上野理事

平成 30 年 11 月 11 日（日） 13:00～17:30

順序通りであれば、①近大②市大③大阪医大④阪大で、関西医大休みの年ですが、奈良医大 宮田理事がロコモ関連の講義を申し出ています。どの大学が担当するかを決めていただき、及び担当大学においては、4 月総会までに講師選定をおねがいしたい。との申し入れが有り、①近大（岸本英樹先生）②市大③大阪医大（脊椎関係）④奈良医大（宮田重樹先生：ロコモ関連）となり、今回は関西医大、阪大が講師選定なしとなった。

9、 OCOA エコーセミナー

大島理事

日時 2018 年 6 月 30 日（土） 16:00～19:00

場所 中外製薬 大阪北支店（新大阪）

16:00～17:40 開会の辞 大阪臨床整形外科 増田 博先生

講演 1 肩関節の超音波検査とエコーガイド下インターベンション

講演 2 日常診療に役立つ下肢エコー

講演 3 エコーは外来内視鏡 エコーが無ければ診断できない症例の数々

17:40～19:00 ハンズオンセミナー

講師 渡辺千聡先生 藤原憲太先生 大島正義先生

共催：大阪臨床整形外科 中外製薬株式会社（増田副会長 大島理事）

大島理事から上記内容が報告された。募集人員は 30 名程度、参加費は OCOA 会員が 3,000 円、会員外が 6,000 円とし、講師料については後援会社から援助していただけるとのことであり、実施計画が全会一致で承認された。

10、 規則追加

藤本副会長

（決議の省略）

第38条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事はその提案について異議を述べたときを除く。）は、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

条文 常任理事が常任理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案につき議決に加わることができる常任理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の常任理事会の決議があったものとみなす。

（理由）定款 38 条には上記規定があるが、常任理事会に於いて急を要する事項があった場合にメールでの協議、決定を行う上での明確な規定がなかったので、定款第 38 条を改定した条文を定款運用規則に追加したい。

藤本副会長から規則追加が提案されて、全会一致で承認された。

11、 武田薬品工業の OCOA リハビリテーション研修会の

次年度共催辞退への対応について

長谷川副会長

長谷川副会長から、「大阪臨床整形外科医会リハビリテーション研修会」の設立からの経過、武田薬品工業株式会社の本会へのかかわり方変遷が報告された。今後は他社への働きかけも含めて、時勢を冷静に判断しつつ今後対応して行くこととなった。

12、 研修会予定

増田副会長

第 305 回研修会から第 308 回研修会、OCOA 特別研修会（6 月 9 日）の研修会担当役員の人選が行われ、全会一致で承認された。又、第 309 回研修会から第 315 回研修会および OCOA 特別研修会（8 月 4 日、10 月 20 日）の日程が承認された。

[報告事項]

1、会員動態

小林副会長

会員動態（平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日）

平成 30 年 2 月末現在 一般会員 468 名 顧問 9 名 名誉会員 11 名 計 488 名

入会

北西正光(八尾市 兵庫医大昭和 6 2 年卒) 南川義隆(浪速区 関西医大昭和 5 5 年卒)

高 英卓(鶴見区 関西医大昭和 6 0 年卒) 中野恵介(城東区 弘前大昭和 5 3 年卒)

永山芳大(堺市 阪大平成 1 5 年卒)

退会

米谷俊祐(阿倍野区) 山内栄二(守口市) 國重昌彦(港区) 山本光男(寝屋川市 ご逝去)

松本豊一郎(枚方市) 川崎崇雄(都島区)

名誉会員 小野啓郎(30年1月24日ご逝去) 稲松 滋(30年1月27日ご逝去)

2、第 5 回大阪臨床整形外科医会リハビリテーション研修会

長谷川副会長

「第 5 回大阪臨床整形外科医会リハビリテーション研修会」

平成30年2月10日（土）ANAクラウンプラザホテル

参加者 196 名（医師会員 80 非会員 82、療法士会員 29 非会員 5）

第1演題「高齢者の医療安全」杉本 研

第2演題「野球肩の診療のポイント」岩堀 裕介

次年度は平成 31 年 2 月 23 日(土)の予定であるが、武田薬品の共催が無くなるため中止になる可能性がある。

3、第 9 回日整会理事会

2/15・東京 長谷川副会長

1. 学術集会運営委員会 第 91 回学術総会にて託児所を有料で設置する予定

2. 教育研修委員会

専門医機構の規則変更により、共通講習 14-4 から、指導者講習会が削除された

3. 専門医資格認定委員会 ロコモ関連の問題が 3 題出題された

4. 広報・渉外委員会

メールアドレス登録会員は約 900 名、メール通信を全会員に行いメール通信を拡大
柔整師の超音波検査についての対応：JCOA と相談して検討する

5. 学術集会会長等選挙管理委員会

6. 社会保険検討委員会

(ア) 診療報酬改正

- ・ 疾患別リハビリテーションにおける算定日数上限の除外対象患者
→末梢神経障害（1年未満）、外傷性腱板損傷（180日以内）が追加
- ・ 要介護・要支援患者に対する維持期・生活期の疾患別リハビリテーション料について→経過措置を1年延長
- ・ 小児運動器疾患指導管理料について
→6歳未満であって、脊柱側弯症や先天性股関節脱臼など

(イ) 小児運動器疾患指導管理料へ日整会の対応

「小児の運動器疾患に係わる適切な研修を終了していること」については、
整形外科医専門医（学会認定専門医又は機構認定専門医）であって、日本整形外
科学会専門医制度規則第13条（2）の第1号に定める14必須分野のうち、必須分
野3：小児整形外科疾患を5年に1回受講していること

7. 専門医資格認定委員会：次回専門研修プログラムのスケジュール
8. リハビリテーション認定医移行について
日本整形外科学会運動器リハ認定医から日本リハビリテーション医学会認定臨床医へ
の移行について、日整会と日本リハ医学会で協議されている内容の報告
 - ①日本リハビリテーション学会の加入歴1年以上
 - ②10症例の報告まとめ提出の条件を削除
 - ③「指定の研修会」を別途設ける

4、平成29年度第6回一般社団法人JCOA理事会 2/18・東京

長谷川副会長

平成30年2月18日（日）ロイヤルパーククホテル

【審議事項】

1. 平成29年度入会承認及び退会状況について（三宅）
正会員5,822名 名誉会員105、合計5,927（H28末5,866 +61）
2. 平成30年度定時社員総会の議案について（田辺）
日時：平成30年6月10日（日）品川プリンスホテル メインタワー
3. 平成30年度名誉会員候補者の推薦について（田辺）
栗本一孝（大阪）ほか計13名
4. 骨と関節に関して行った行事の表彰について（北村）
ポスターと新聞広告に加えて、「骨と関節に関して行った行事」の表彰を行う
5. 交通事故診療に関するアンケートについて（山下）

各都道府県の交通事故診療及び各都道府県医師会の自賠労災委員会との交流に対する取組を調査する、結果は第31回JCOA学術集会のシンポジウムにて報告する

6. 捻挫の定義をJCOAウェブサイトに掲載することについて（小野）

→了承、文言は再検討を要す

7. 賛助会員の資格等に関する規則の制定について（二階堂）

8. 第32回学術集会（関西）での学術集会発表論文受付（林）

学術集会発表論文を第32回学術集会（関西）にて受け付けることについて了承
詳細は学会事務局、学術、編集と協議する

学術集会HPのweb上での電子受付も考慮する

【報告事項】

1. 平成29・30年度各種会議等実施状況（新井）→資料
2. 平成30年度予算科目別積算根拠について（木内）→資料
3. 「公益財団法人運動器の10年・日本協会から「公益財団法人運動器の健康日本協会」への名称変更について（新井）

【日整会理事会】

日整会理事会報告（長谷川）

5、JCOA 委員会経費

長谷川副会長

JCOA平成30年度予算にて説明があり、次年度予算は前年12月末日までに提出されている。との説明があった。

6、平成30・31年度 一般社団法人大阪臨床整形外科医会 組織表

長谷川副会長

案＜平成30・31年度 一般社団法人大阪臨床整形外科医会 組織表＞

＜会長＞ 増田 博 ＜会長代行＞ 長谷川利雄

＜副会長＞ 藤本啓治 小林正之 白木隆士 木下裕介

＜監事＞ 黒田晃司 松矢浩司 栗本一孝（新任）（定款改正 監事を2名以上に改正）

＜議長＞ 早石雅宥 ＜副議長＞ 大島正義

＜裁定委員＞ 前野岳敏 三橋二良 天野敬一

＜常任理事＞ 右近良治 小林正之 白木隆士 長谷川利雄 藤本啓治 前中孝文
増田 博 森本清一 山本哲 堀口泰輔 貴島浩二 木下裕介

以上12名（定款改正、総会承認必要）

＜理事＞ （新任）岸本英樹 田中富弥 邊見俊一 宮口正継 山本善哉

を含む43名（任期は平成32年4月総会まで。再任をお願いすることあり）

7、平成29年度第2回 運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会

貴島理事

平成30年1月14日（日）JCOA事務局

理事会決議事項：

1. 平成28・29年度理事長諮問事項についての検討

本委員会への理事長諮問事項について、検討を行った。

①平成30年度診療報酬・介護報酬の同時改定に向けて、要望事項の検討：既に検討を終了。

②介護予防事業の地方への移譲に関する対策と会員への広報：

整形外科診療所の通所リハは、要支援1,2に相当する人が多いので注目に値する。

各地域によって異なるので各地方自治体の介護サービスについて参照すること。

③運動器リハビリテーションの評価方法の検討

④介護事業への参入に関する検討：JCOA首都学会にて当委員会からパネルディスカッションセッションテーマ

「短時間通所リハビリの現状と工夫—介護リハへのアドバンスコース シーズンⅠ—」

1) 地方の整形外科診療所での介護保険との変遷と運営スタイルの変更における検討：河村英徳

2) 運動器リハから短時間通所リハへ～移行の実際と工夫～：佐藤栄作

3) 維持期リハビリ患者の受け皿としての短時間型 通所リハビリ：西本章

4) 通所リハビリテーションの現状と利用継続のための工夫：久保田亘

5) 今後の医療介護予測に合わせた医院経営：野末 洋

委員会報告事項：

1. JCOA鹿児島学会委員会企画シンポジウムについて

セッションタイトル

「運動器リハと介護リハの共存共栄—介護リハへのアドバンスコース シーズンⅡ—」

として内容の検討を行った。

2. 平成30年度の事業計画を作成した。

8、平成29年度第5回医療システム委員会 JOAとの合同委員会

岸本理事

平成29年度第5回医療システム委員会

平成30.2/4（日）9時～13時 ステーションコンファ東京6階 出席：岸本、宮田、前中

【理事会・委員会報告事項】

1. 平成 29 年度第 5 回 JCOA 理事会報告（平成 29 年 12 月 17 日） 小野直司理事
 - (1) 東日本大震災及び熊本地震被災に対する義援金のお願い
 - (2) 柔道整復師における超音波装置の使用に関するガイドライン
【社団】“超音波検査を行った後患者に内容を告知する”とある
←これは診断すること：医師法に抵触する可能性。
 - (3) 医業類似行為に関わる健康被害等の全国調査について
患者情報等の取り扱いの件で、調査の目的と目的以外には使用しないことを書いた患者説明文を作成し、【倫理委員会に提出】。
 - (4) 捻挫の定義を JOA ウェブサイトに掲載する
分類と治療法がリンクしているのでこれを分けて書き直す。
宮田重樹委員が治療法についてはいろいろな方法があると書き直し。
2. 平成 29 年度（11 月 12 日）JCOA シンポ 報告
3. （平成 29 年 11 月 20 日）第 12 回柔道整復療養費検討専門委員会議事録
【委員会決議事項】
 1. 平成 30 年度第 1 回医療システム委員会日程と今後の体制
 - (1) 平成 30 年 4/8(日)にステーションコンファ東京 6 階
 - (2) 中部、北海道から推薦者を募る。北海道 COA 会長に大竹が打診。
 2. 医業類似行為に関わる健康被害の報告のまとめ
 - (1) 2014 年 7 月から 2016 年 12 月までに報告されたデータをまとめ、アンケート用紙を郵送するときに同封。
 3. JOA 広報渉外委員会合同委員会での要望案
「寝違え」「ぎっくり腰」「突き指」を一般の方がみてわかるように載せることを要望。
 4. 一日だけの「医業類似行為に関わる健康被害等の全国調査」について
 - (1) 目的：医業類似行為による不適切施術がどのくらいか、有害事象が生じているか把握
 - (3) 患者の個人情報を取り扱うので。患者説明文を作成し倫理委員会に提出する。
 - (4) 1 日だけの調査だと少ない？1 週間？まずシ委の委員だけで 2/19(月)から 1W 試行。
 5. 第 16 回あはき療養費検討専門委員会議事録
 - (1) 厚労省が示した不正対策案は、患者本人による請求内容の確認、医師の同意・再同意の文書化、長期・頻回の施術等の分析や償還払いへ戻せる仕組みの導入、往療料の見直し、審査会の設置など審査体制の構築などである。
 - (2) 【施術毎の署名】について保険者側は肯定、施術者側は否定意見。
 - (3) 「柔道整復」の定義をはっきりしてほしいと松本光司副委員長が要望。

(4) 宮崎県後期高齢者医療広域連合用の同意書をたたき台にする。日本医師会清水恵一郎先生、釜菴敏先生も了承。

6. 施術管理者の要件について

(1) 医薬品医療機器等法では柔道整復師は管理者になれないはず。大竹が保健所からの通知書等を調べて委員会に報告する。

(2) 施術管理者の研修の中に医療機器を接骨も使っているなら管理が必要ではないか？

7. JOA ならびに JCOA 会員・内科医への周知徹底

(1) 東大医付属病院 22 世紀医療センター整形の松平先生が全柔主催セミナーで登壇。鍼灸柔整新聞の見出しは「コルセットに根拠なし」。合同委員会で報告。

(2) もりした整形クリニック森下肇先生が講師として柔整師対象にエコーの講習会を。角南から金沢の先生を通じて注意。

8. 合同委員会のテーマ

(1) 医師のための保険診療基礎知識 医業類似行為関連 Q&A 改訂作業。

(2) 新作は厚労省の方針が決まってから、松本光司副委員長が作成。

9. 多職種との連携

(1) 第 193 回通常国会で維新の会から柔整法の一部を改正する法律案が上程。内容「衛生学の下に（放射線衛生学を含む）、X 線技術学、放射線安全管理学を加え、X 線撮影を行えるようにする」である。日臨床放師会理事会は断固反対姿勢。自・公にお願い。

(2) 日臨床放技師会との連携をすることを視野に入れ、平成 30 年度の JCOA シンポジウムに招待。

【日整会広報・渉外委員会合同委員会】

(13:00～両委員会で昼食)～15:00

1、JOA の HP:「寝違え」「ぎっくり腰」「突き指」を一般の方がみてわかるよう掲載要望

2、柔整のエコー対策の検討

9、平成 29 年度第 6 回編集委員会 永田理事 宮島理事 山口理事

平成 30 年 2 月 7 日 (水) テレビ会議 (参加) 山口眞一、永田行男、宮島茂夫

議題: ニュース・会報の反省と予定について。

10、平成 29 年度第 6 回雑誌編集 WG 永田理事 宮島理事 山口理事

平成 30 年 2 月 7 日 (水) テレビ会議

○新編集 WG 委員就任 山口眞一委員が就任した。

○113号、114号の発刊状況について。

○国際化プロジェクト論文と学術集会発表演題論文の区分、学術集会発表演題論文の規定について。

○日韓臨床整形外科合同研究会の抄録掲載について。

1 1、平成 29 年度 JCOA 研修会 **古瀬理事**

平成 30 年 2 月 11 日（日）品川プリンスホテル

研修会 特別講演 1「脊椎外科手術手技の進歩とリスクマネジメント」

特別講演 2「2018 年診療報酬改定と今後の整形外科医療」

パネルディスカッション「災害への医療対応」

1 2、大阪臨床整形外科医会会報 44 号 **2/17・大阪 宮田理事**

大阪臨床整形外科医会会報 44 号 目次と投稿状況について報告された

なにわの先駆者 →改題検討中

菊池啓教授

40 周年記念式典、祝賀会

前中先生

など

1 3、研修会収入 **白木副会長**

平成 29 年度大阪臨床整形外科医会 研修会参加者数及び収入について報告があった。

1 4、総資産推移 **白木副会長**

OCO A 総資産 平成 23 年度から平成 29 年度までの推移について報告があった。

1 5、各委員会報告

各委員会より平成 29 年度の活動報告がなされた。

1 6、研修会実施報告 **増田副会長**

第 303 回研修会（1 月 27 日ホテルインターナショナル：日本臓器）173 名会員 112 非会員 61

第 304 回研修会（2 月 17 日ホテルグランヴィア：科研製薬）318 名会員 158 非会員 160

1 7、その他 **前中会長**

1、療法士会部会より OCOA 会員アンケートにて（吉村理事）

運動器リハビリテーションを行っている医療機関は 49%、との報告

2、会報誌への「新入会会員の紹介」投稿お願いについて（宮田理事）

0C0A ホームページ会員の部屋から、書式をダウンロード使用してください

3、退任理事の挨拶

西川理事、永田理事、宮内理事、より退任にあたりご挨拶があった

★理事会の終了にあたり、監事から理事への慰労と謝辞が述べられ、今回の理事会の成立が承認された。

この議事録が正確であることを証するため、定款第 40 条の規定に従い、会長及び監事が署名、押印する。

平成 年 月 日

会長

印

監事

印